



東北慢性疾患看護研究会

責任者：内海 香子 共同者：藤澤 由香
令和5年度岩手県立大学看護実践研究センター事業

・活動の概要

岩手県立大学大学院看護学研究科慢性疾患看護専門看護師（以下、慢性CNS）コース修了者や、慢性疾患患者のケアに携わる看護職者を対象に、「ベナー/ルーベル 現象学的人間理解」の視点による事例検討会、一般看護師向けの慢性CNSによる実践事例の講演、他県の慢性CNSとの交流を行いました。

・活動の成果

事例検討会について「患者をトータルでみることの大切さや、身体化した知性、背景的意味、気遣い・関心、状況、時間性についての理解と共に、事例のケアの良かった点と、足りなかった点を深く掘り下げて考える機会となった」のように、深い患者理解と自身の看護の振り返りになると高評でした。他県の慢性CNSの活動を聞いて、「元気をもらった、頑張ろうと思った」という意見がありました。

一般看護師向けの慢性CNSによる実践事例の講演

テーマ：1型糖尿病患者の看護 小児期からのつながりを踏まえた看護
講師：由浪 有希子先生（東北大学病院, 慢性疾患看護専門看護師）



●糖尿病患者のキャリアオーバーの問題についてディスカッションを行い、大人の外来への移行の難しさとケアの工夫、小児から大人まで切れ間のないしくみを各施設で作る必要性を確認できました。